



# 岩崎電気株式会社の株式取得について

2026年1月29日

スタンレー電気株式会社

► STANLEY GROUP VISION

光に勝つ

# 本取引の概要



## 取引概要

対象会社	岩崎電気株式会社
取得価額	70,292百万円 ※アドバイザリー費用等を含む
ストラクチャー	投資ファンドであるカーライル及び少数株主(対象会社役職員及び持株会)からの株式取得を通じた完全子会社化
スケジュール	2026年4月1日のクロージングを予定
クリアランス手続き	日本国内で独禁法対応、ベトナム及びインドネシアにおいて競争法対応が必要

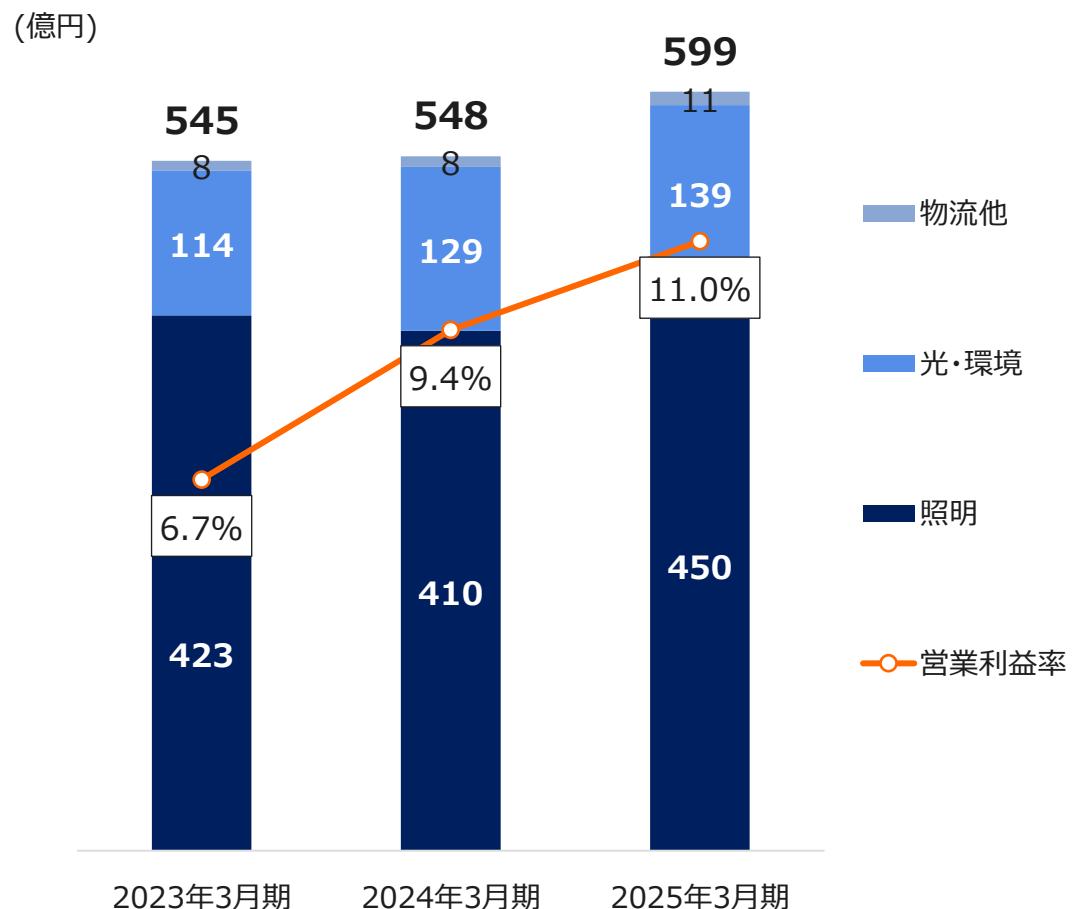
## 取引ストラクチャー図



## 会社概要

商号/設立	岩崎電気株式会社 / 1944年8月
代表者	代表取締役社長 伊藤 義剛
所在地	東京都中央区東日本橋1-1-7 京王東日本橋ビル 6階
資本金	69億円
事業内容	各種光源、照明器具、光環境機器(紫外線・赤外線・電子線応用)などの製造及び販売
事業構成	照明 (75.1%)、光・環境 (23.1%)、物流他(1.8%) ※2025年3月期 売上高構成比
従業員数	1,470名 (連結) (2025年5月時点)

## 調整後事業別売上高<sup>(1)</sup>・営業利益率



(1): 清算・譲渡済みの事業、未修正の監査差異にかかる調整を実施

## I 岩崎電気の主な事業

### 照明ソリューション事業

- 主に国内で屋外やスポーツ・商業・工場施設向けに照明を提供
- 日本全国の営業・サービス網をベースとする営業力・企画開発力が強み
- 受注実績も豊富で、特に公共分野では高いプレゼンスを有する

### 光・環境事業

- 様々な産業領域に光源・ランプ・装置を提供
- 共同開発等を通じた大手機器メーカー顧客との強固なリレーションにより、知見・実績を蓄積

## I 社会における岩崎電気の製品・サービス

### ■ 照明ソリューション事業

### ■ 光・環境事業



# 岩崎電気がパートナーとなることへの想いと狙い



想い

“光を通じた社会課題の解決”という理念を共有する岩崎電気をパートナーとして迎え  
両社の強みを掛け合わせることで、新たなソリューション創出と事業ポートフォリオの進化を実現し  
持続的な企業価値向上を確かなものにしていく



自動車領域を主軸に様々な領域で  
光源からアプリケーションまで  
幅広い光技術の活用に強み



道路・トンネル・防犯照明を中心とした  
都市インフラ照明や光・環境制御  
分野において豊富な実績



IWASAKI

狙い

## 自動運転向け「光インフラ」



安全安心な交通社会に向けて両社の光技術  
を融合させ、車両・人・インフラ三位一体の  
路車協調システムを構築

## 景観照明 × 高度配光・光制御技術



スマート景観照明やイベント連動型照明など、  
光技術で体験価値を向上

## ASEAN・インド市場での 道路灯事業拡大

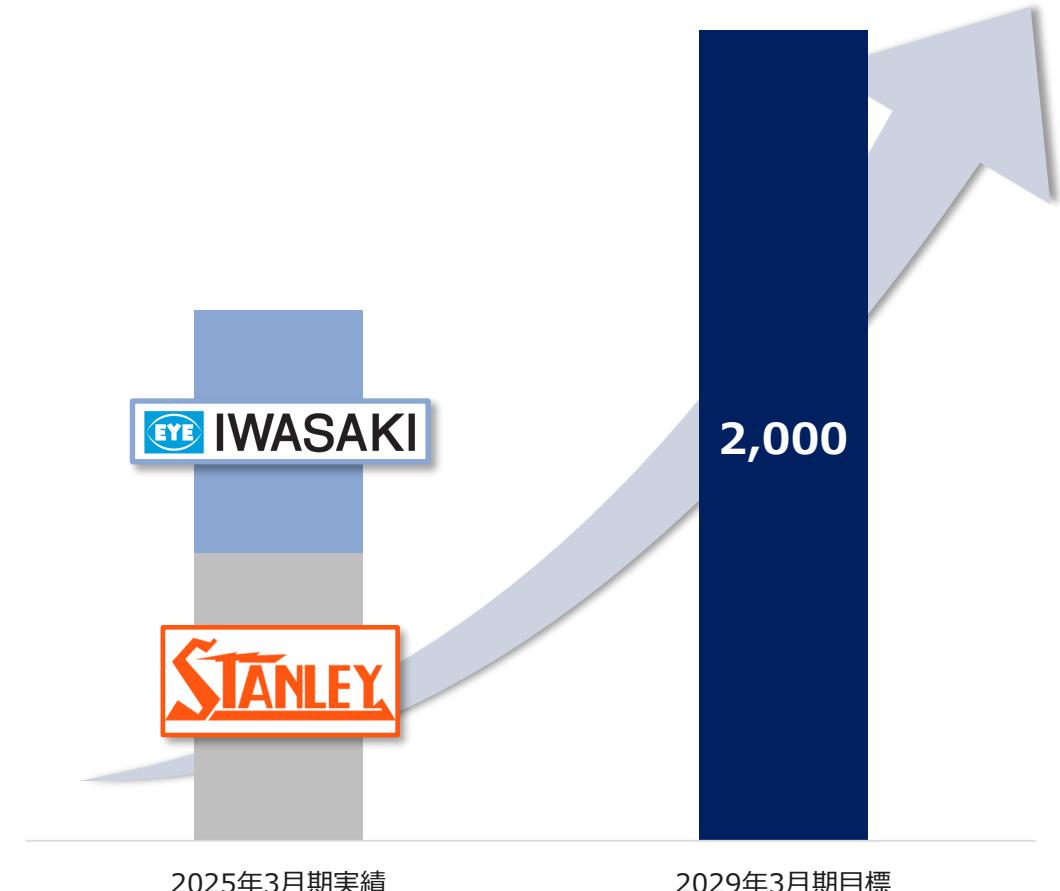


グローバルの生産・販売網を通じ、道路灯や  
スマートインフラ照明の海外展開を推進

## I 長期シナリオ・中期経営計画との関係

- 当社グループでは、10年間ごとの長期経営目標と、それに基づく3ヶ年ごとの経営計画（中期経営計画）を策定
- 電子事業<sup>(1)</sup>は2029年3月期の売上高で2,000億円を目指し、社会課題解決につながる新たな応用製品で市場を開拓している
- 達成に向け当社がすでに強みを持つ分野における新製品の開発、販売促進に加え、アライアンス強化による拡大を模索していた

## I 両社合算の電子事業売上高と中計目標値（億円）



岩崎電気を当社グループに迎え入れることで  
未参入領域への進出に伴う電子事業の強化と  
アジア・インドを中心とした海外展開の拡大を目指す

(1): 「コンポーネンツ事業」及び「電子応用製品事業」の総称

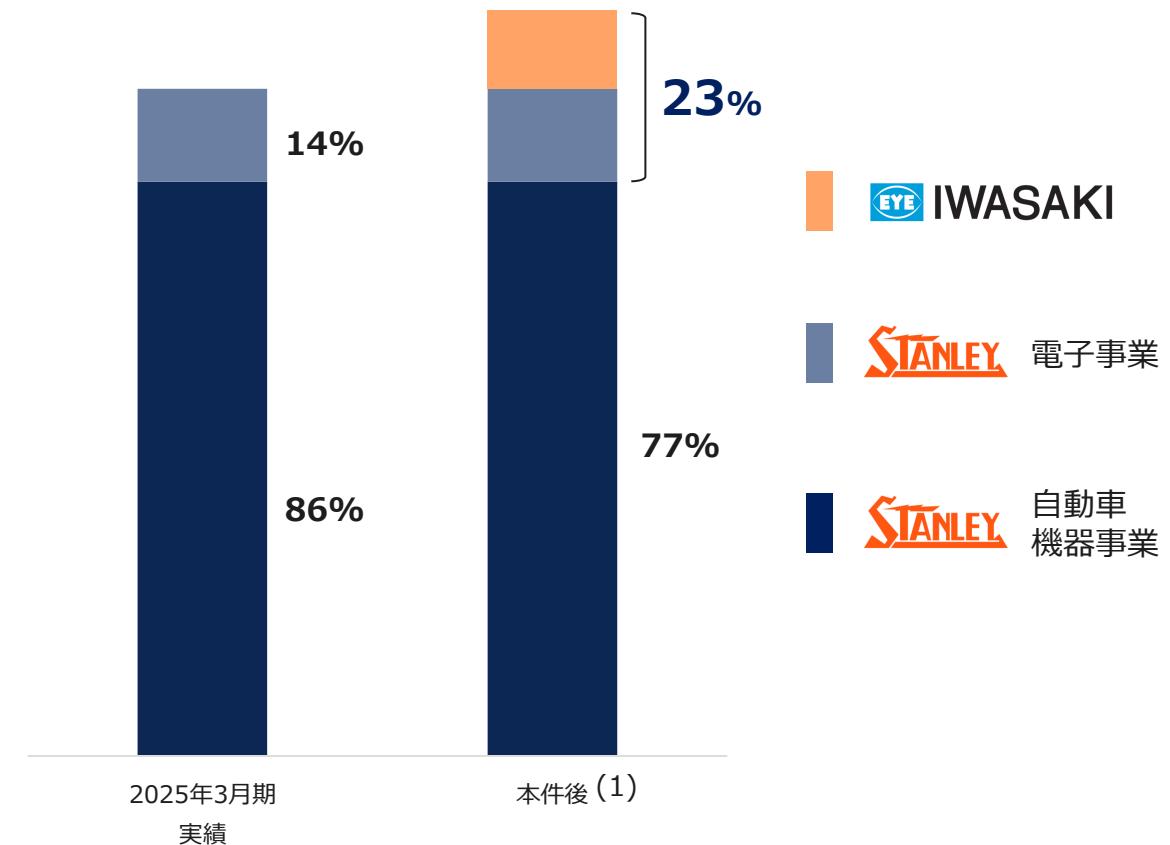
## | 長期シナリオ・中期経営計画における財務目標

- 当社グループは、収益性と資産効率性の双方を高め資本コストを意識した経営を強化している。ROEを経営の最重要目標のひとつとして掲げ、2029年3月期**ROE 10%**を目指している。



全社戦略コンセプトに基づく活動により  
収益性と効率性の双方を高め、持続的な成長を目指す

## | セグメント別売上高比率への影響



(1):「本件後」の売上高は、2025年3月期実績の当社の売上高に対象会社の同期間の実績売上高を単純合算しております。

「光を通じた社会課題の解決」に取り組む両社が「融合し  
新たな成長フェーズを切り拓いてまいります



# Appendix. 岩崎電気について

# 岩崎電気について: 国内生産拠点

STANLEY



## 埼玉製作所(埼玉県行田市)★★

LED、紫外線ランプ等の各種光源の一貫生産のほか、紫外線殺菌装置や、水の浄化装置・印刷・産機用照射装置等も手掛ける主要工場  
新商品・装置の開発、新規光源の研究開発、材料分析技術、各種光学設計技術、殺菌技術など多岐にわたる研究・開発を担う



## 研究開発棟 HIKARIUM(ヒカリウム)

研究開発・技術部門が集まる、岩崎電気グループ技術開発の中枢基地 (埼玉製作所内)



## 秩父工場(埼玉県秩父郡長瀬町)★★

1985年創業の(株)秩父イワサキは、2024年に岩崎電気株式会社秩父工場として新たにスタート  
加熱用のハロゲンや、半導体製造工程で使用するランプのほか、ハロゲンランプの開発設計を担う



## 株式会社関越イワサキ(新潟県南魚沼市)★★

1985年創業。UVランプの製造、石英ガラスの加工を担う



## 桜川工場(茨城県桜川市)★

LED商品のメイン生産工場  
LED照明器具の生産を担う



## 伊東電機株式会社(茨城県常陸大宮市)★

1997年買収。防爆用照明器具の製造を担う



## EB工場(埼玉県行田市)★

電子線照射装置の製造、設置工事、保守・修理、電子線加工・生産品の受託を担う



# 岩崎電気について: 海外生産拠点

STANLEY

- 製造拠点
- 販売拠点



## • ENERGY SCIENCES, INC.(マサチューセッツ/米国)

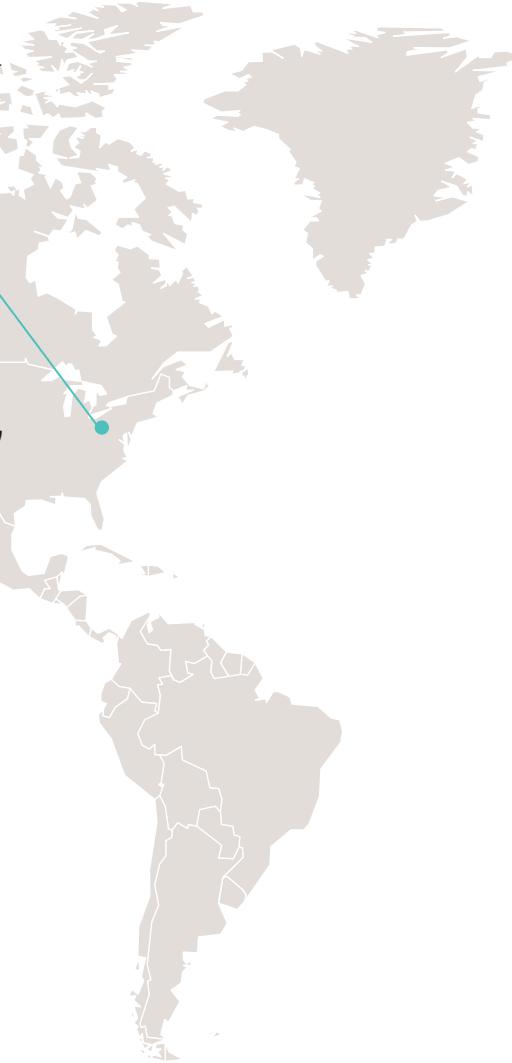


EB(電子線)システムの主力拠点。  
加工から、開発・製造・販売・保守まで一貫したトータルソリューションを提供

## • EYE LIGHTING ASIA PACIFIC PTE.LTD. (カキブキットプレイス/シンガポール)



道路、スポーツなど屋外LED照明機器及び電気製品の製造・販売



当資料における、スタンレー電気の計画、見通し、戦略などの将来動向につきましては、現在入手可能な情報を基に、当社の判断に基づいて作成しており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、経済情勢、為替相場、市場の動向などのさまざまな要素により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、これらの情報および資料の利用は、ご自身の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

また当資料は、当社をより深く理解していただく目的で作成しており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。当資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお本資料は、当社ホームページに掲載しております。